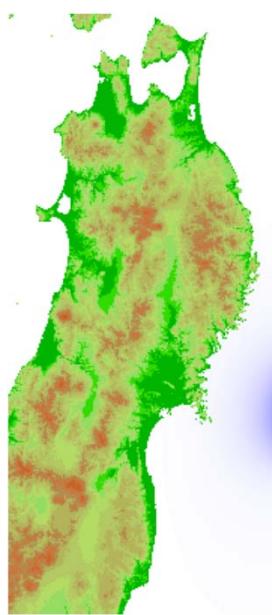


2011年3月9日 三陸沖での地震(気象庁M=7.3)での津波数値解析

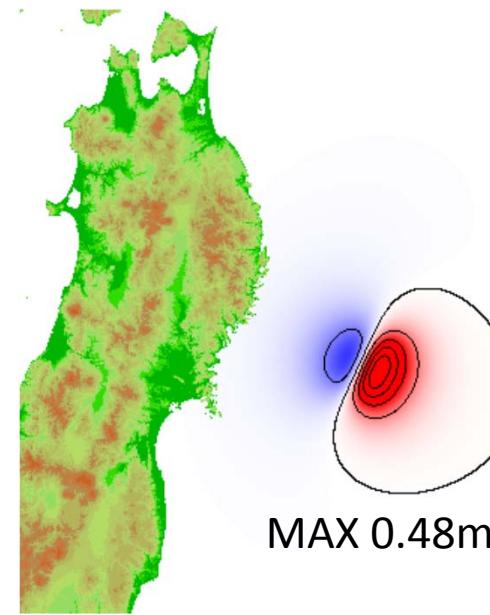
2011年3月9日
東北大学大学院工学研究科 津波工学研究室
非常勤講師 阿部郁男

■初期水位分布



【ケース4】
傾斜角 21.0
走向 188.1
すべり角 74.5
長さ 50.2km
幅 25.1km
すべり量 2.51m
原点 38.4N, 143.3E

MAX 0.57m

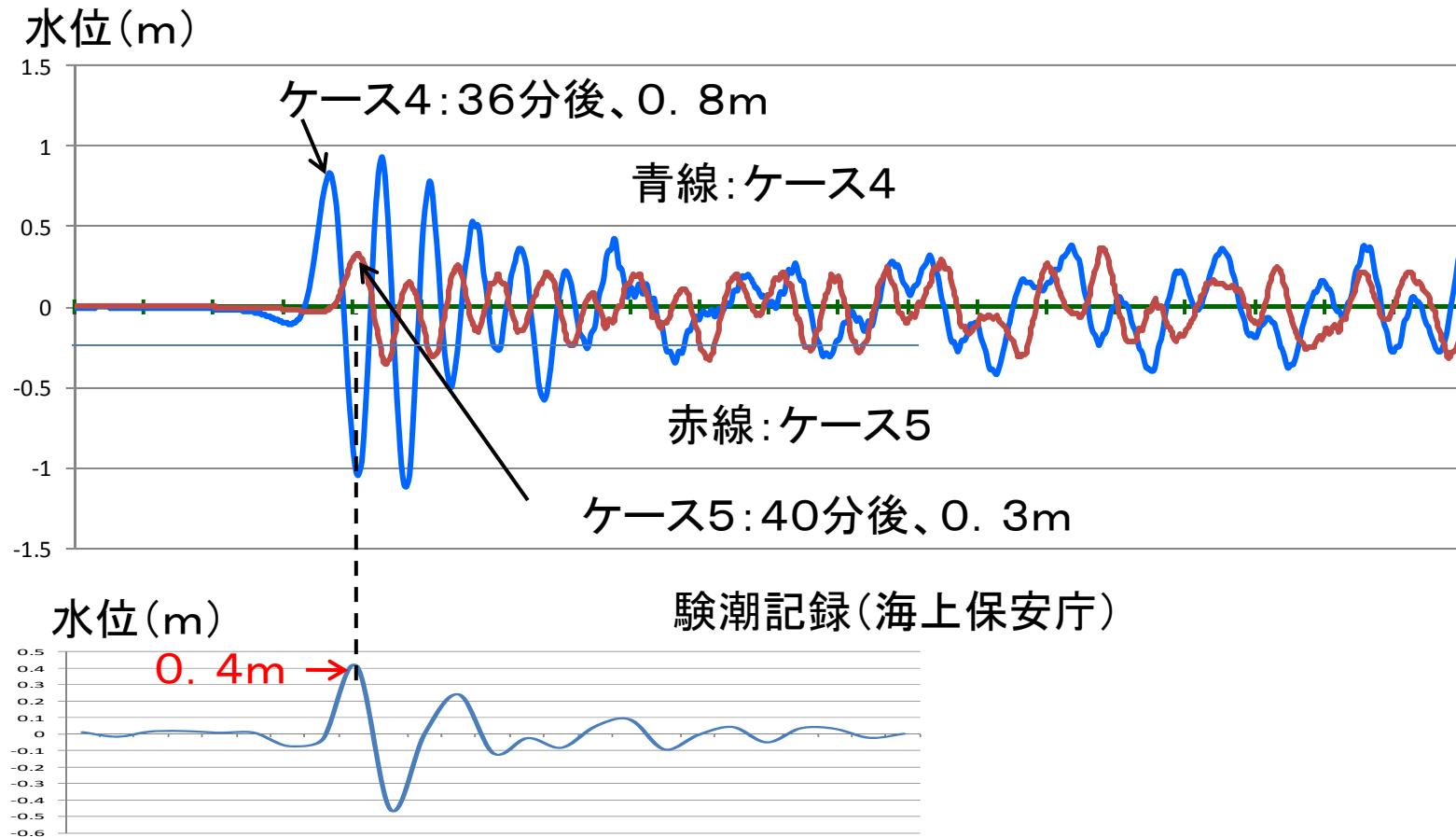


【ケース5】
傾斜角 69.8
走向 24.6
すべり角 95.9
長さ 50.2km
幅 25.1km
すべり量 2.51m
原点 38.4N, 143.3E

MAX 0.48m

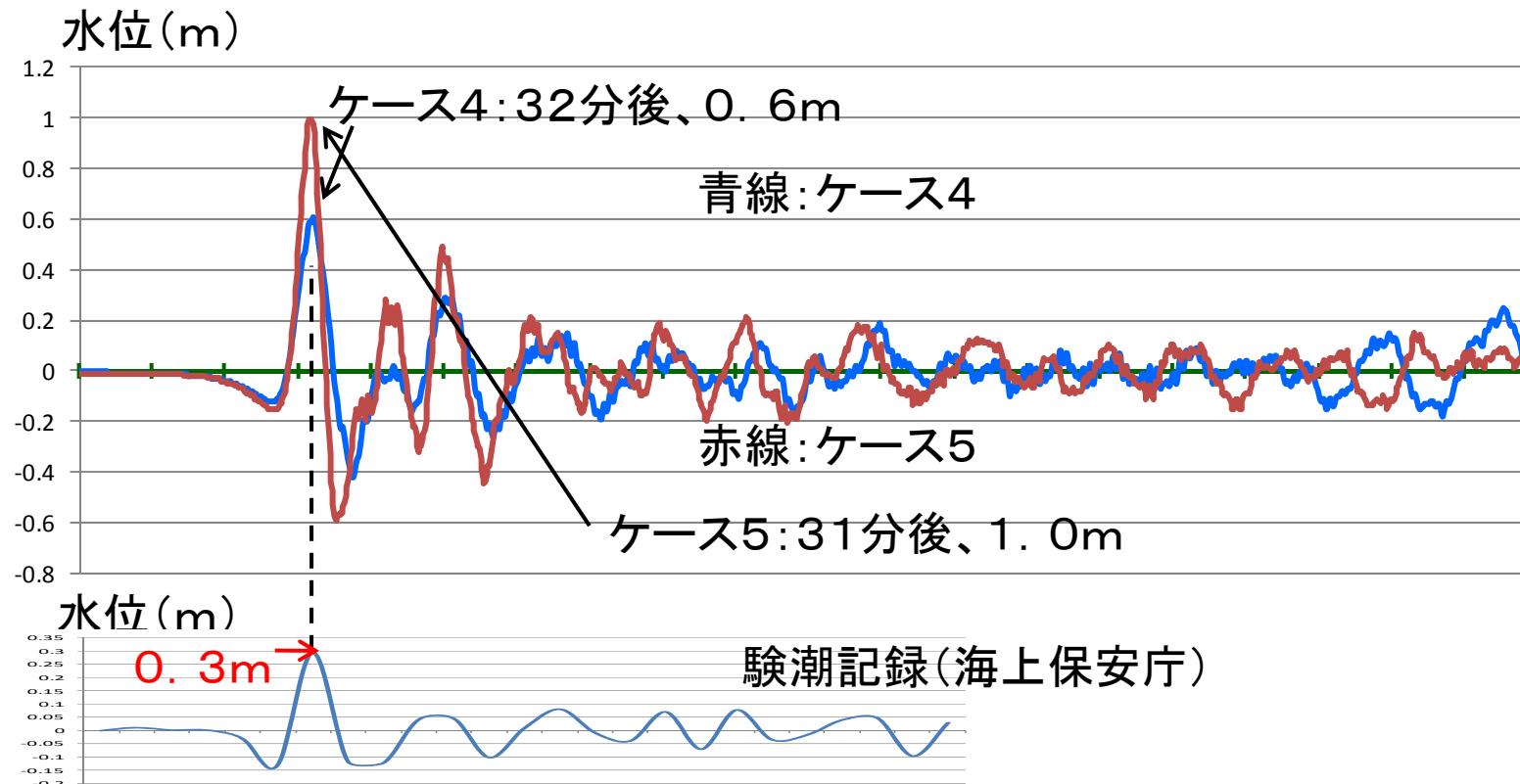
計算条件: 最詳細 150mメッシュ、堤防などあり
最詳細メッシュのみ非線形

■鮎川



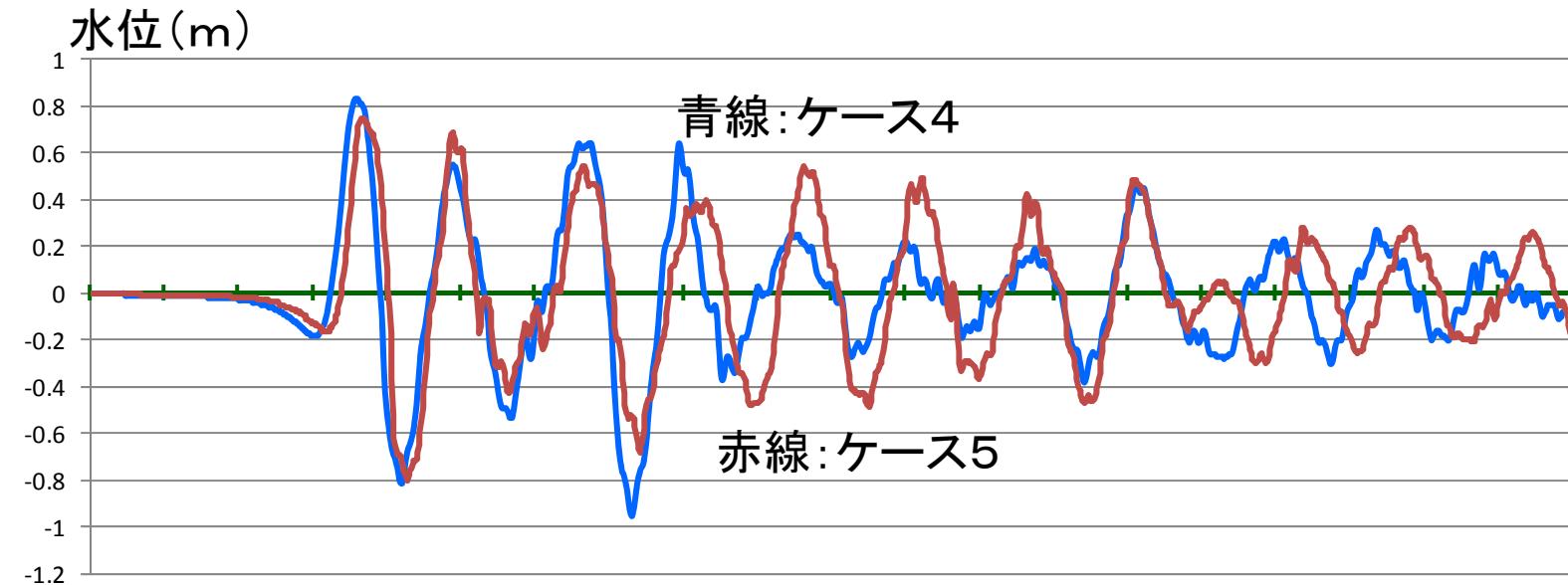
鮎川でみると、ケース5のほうが駿潮記録と計算値が一致する。
周期が駿潮記録のほうが長いのは、津波成分の抽出によるものか？

■大船渡

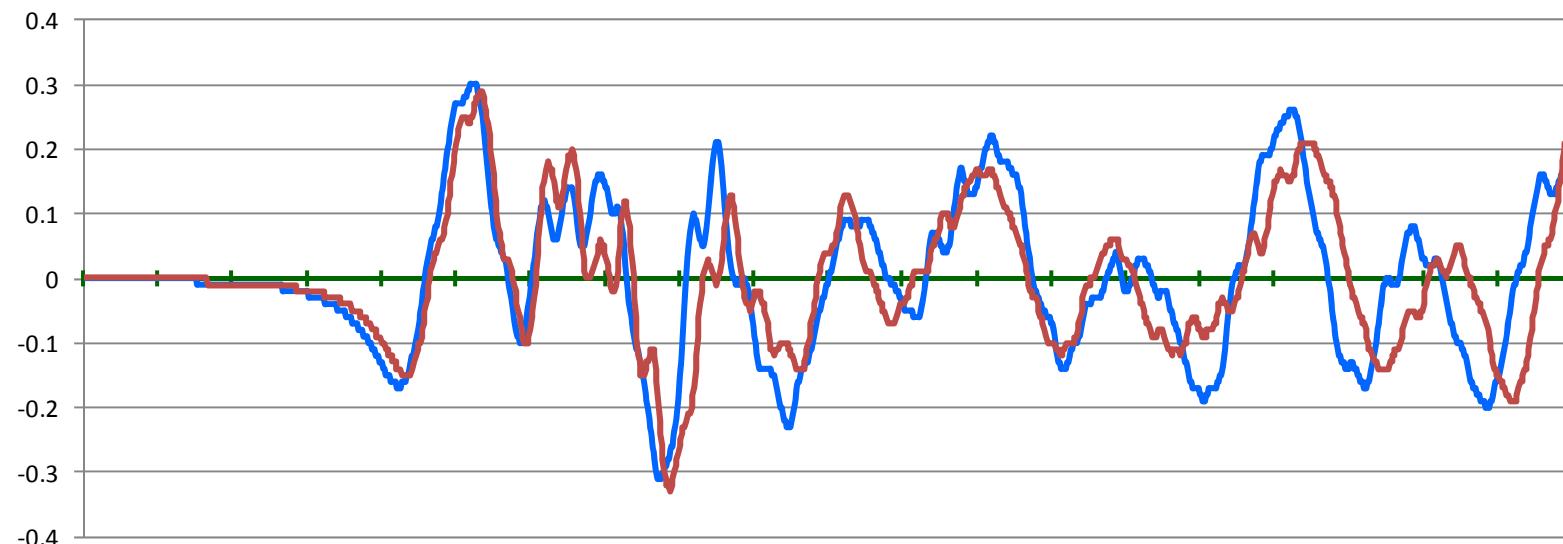


大船渡は、津波到達時間は、ほぼ一致。
驗潮記録と高さが異なるのは、計算波形の出力点が堤防の外？(要確認)

■気仙沼(杉の下)

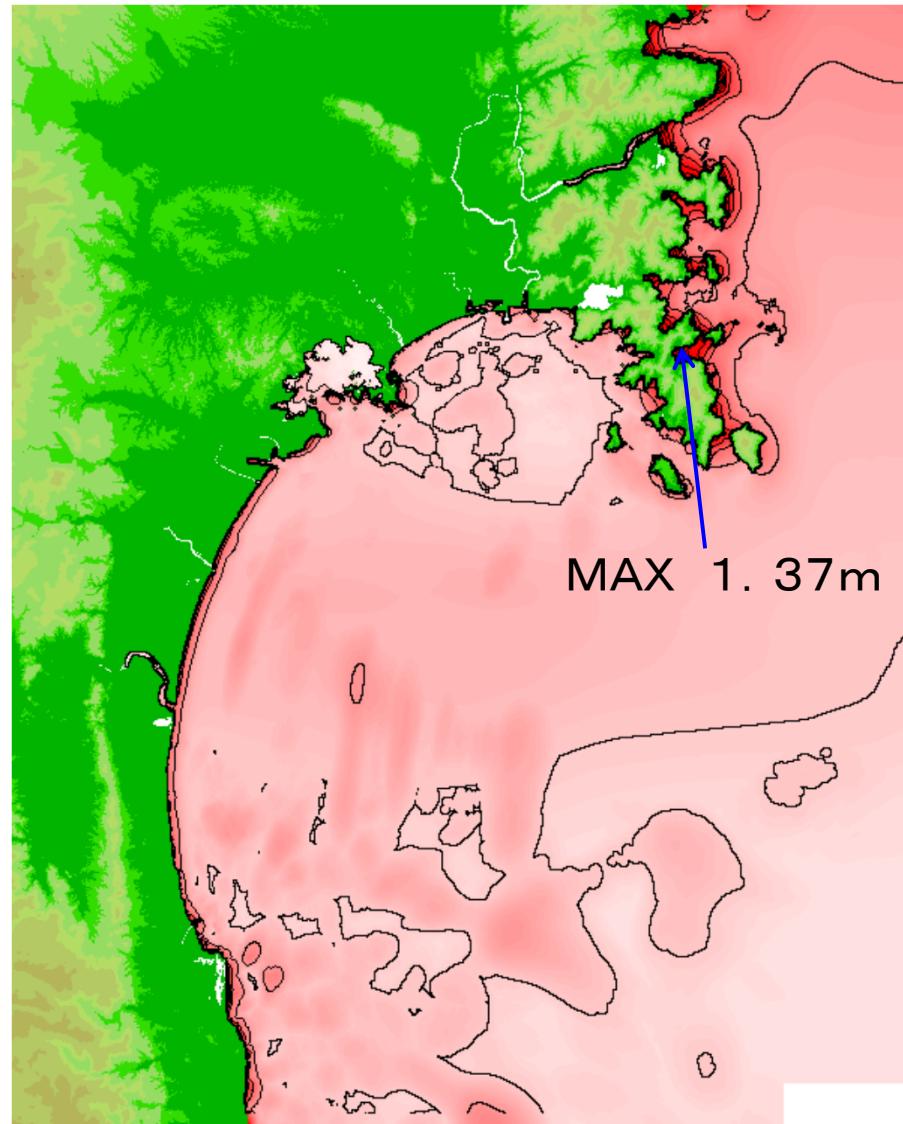


■気仙沼(神明崎)



気仙沼は、ケース4もケース5も大きな違いは見られない。

■最大津波高さの分布(ケース5、再現時間6時間)



岩手県沿岸には1~2mの津波が計算されました。

